

10月4日 **ハイレベルセッション**

自治体のリーダーにスポットを当て、気候危機における予想を提供し、マルチレベルの行動を起こすよう私たちを導きます。

■ **トリアージから治療へ：2022年の気候非常事態の現状（第一部）（17：00～17:45 JST）**

私たちの世界は生命維持装置の下にあります。2022年には、世界の一部の地域では記録的な高温に見舞われ、干ばつや山火事、他の地域では大水害に直面しています。気候変動が引き起こす自然災害が私たちのコミュニティや生態系に壊滅的な影響を与え、地方政府や自治体に管理不能な財政的コストをもたらしている世界に住んでいます。

COVID-19 パンデミックやロシア・ウクライナ戦争などの国際危機は、気候危機に適切に対応するための行動を停滞させました。

都市、町、地域は、この世界的な危機の最前線に立ち続けていますが、彼らだけで対処することはできません。ハイレベルセッションでの議論者は、気候危機の現状と、最も差し迫った課題に正面から取り組むために、すべてのレベルの政府がとるべき最善の行動方針の見解を発表します。

■ **気候正義の実現：気候危機に対する人間中心の対応（第一部）（19:00～20:00 JST）**

気候危機に対応し、対処するには、社会のすべての部門とセグメントの強固な関与が必要です。各国政府は、マルチレベル・ガバナンスを通じて、自らの協力と政策実施の整合性を確保すべきですが、気候危機への対応が広範で、包括的で、そして最も重要なのは、公平性を保証するために、より広範な市民社会に権限を与え、参加させる必要があります。政策立案や意思決定のプロセスにおいて最も脆弱で、しばしば権利を剥奪されたり過小評価されたりする人々のニーズに優先順位を付け、対処することは基本的であり、アジェンダの中核となる必要があります。

さらに、気候緊急金融は、現在および将来の世代、ならびに社会のすべてのセグメントのニーズを考慮する必要があります。財源の投資と支出は、我々の人口の中で最も影響を受けたグループを優先して、公平に行われるべきです。これらのグループは、計画と意思決定プロセスのすべての段階に積極的に参加する必要があります。

討論者は、包括的で公平な気候緊急行動計画、成功したアプローチ、そしてまだ対処し克服する必要がある課題の経験と例を共有します。

■ トリアージから治療へ：2022年の気候非常事態の現状（第2部）（23:00~23:45 JST）

私たちの世界は生命維持装置の下にあります。2022年には、世界の一部の地域では記録的な高温に見舞われ、干ばつや山火事、他の地域では大水害に直面しています。気候変動が引き起こす自然災害が私たちのコミュニティや生態系に壊滅的な影響を与え、地方政府や自治体に管理不能な財政的コストをもたらしている世界に住んでいます。

COVID-19 パンデミックやロシア・ウクライナ戦争などの国際危機は、気候危機に適切に対応するための行動を停滞させました。

都市、町、地域は、この世界的な危機の最前線に立ち続けていますが、彼らだけで対処することはできません。ハイレベルセッションでの議論者は、気候危機の現状と、最も差し迫った課題に正面から取り組むために、すべてのレベルの政府がとるべき最善の行動方針の見解を發表します。

■ 気候正義の実現:気候：常事態に対する人間中心の対応（第2部）（00:30~01:30 JST）

気候危機に対応し、対処するには、社会のすべての部門とセグメントの強固な関与が必要です。各国政府は、マルチレベル・ガバナンスを通じて、自らの協力と政策実施の整合性を確保すべきですが、気候危機への対応が広範で、包括的で、そして最も重要なのは、公平性を保証するために、より広範な市民社会に権限を与え、参加させる必要があります。政策立案や意思決定のプロセスにおいて最も脆弱で、しばしば権利を剥奪されたり過小評価されたりする人々のニーズに優先順位を付け、対処することは基本的であり、アジェンダの中核となる必要があります。

さらに、気候緊急金融は、現在および将来の世代、ならびに社会のすべてのセグメントのニーズを考慮する必要があります。財源の投資と支出は、我々の人口の中で最も影響を受けたグループを優先して、公平に行われるべきです。これらのグループは、計画と意思決定プロセスのすべての段階に積極的に参加する必要があります。

討論者は、包括的で公平な気候緊急行動計画、成功したアプローチ、そしてまだ対処し克服する必要がある課題の経験と例を共有します。